データヘルス計画書（健保組合共通様式）

計画策定日：平成27年　3月30日

最終更新日：平成28年 9月30日

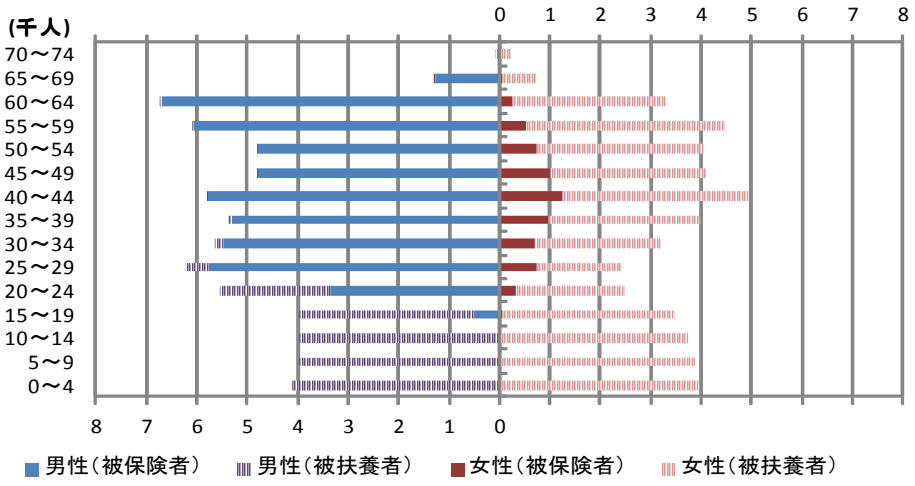
JFE健康保険組合

STEP１-１　基本情報

「全健保組合共通様式」

(	73611
組合名称	JFE健康保険組合
形態	単一
被保険者数 （平成27年度予算 注） ＊ 特例退職被保険者を除く。	56,484名 男性88.3%（平均年齢43.6歳）＊ 女性11.7%（平均年齢41.4歳）＊
特例退職被保険者数	0名
加入者数（平成27年度予算 注）	117,244名
適用事業所数	107ヵ所
対象となる拠点数	500ヵ所
保険料率（平成27年度 注）＊調整を含む。	82.0‰

	全体	被保険者	被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	73.1%	93.3%	36.5%
特定保健指導実施率（平成25年度）	14.0%	14.6%	5.4%



（注）記載要領参照

		健康保険組合と事業主側の医療専門職（平成27年3月末見込み） 常勤	非常勤
健保組合	顧問医	0	0
	保健師等	0	0
事業主	産業医	25	13
	保健師等	60	5

保健事業費		予算額（千円）（平成27年度 注）	被保険者一人当たり金額（円）
	特定健康診査事業費	71,150	1,260
	特定保健指導事業費	42,000	744
	保健指導宣伝費	99,193	1,756
	疾病予防費	150,750	2,669
	体育奨励費	5,040	89
	直営保養所費	311,885	5,522
	その他	45,250	801
	小計　…a	725,268	12,840
	経常支出合計（千円）　…b	31,153,138	
	a/b×100　（%）	2.33	

・被保険者は、男性が90%近くを占めているうえ、年齢構成が高い。
・適用事業所数、拠点数とも多く、ほぼ全国に散在している。
・特定健診実施率は、健保組合平均よりも若干高い水準にある。
・特定保健指導実施率は、健保組合平均よりも低い。

※　医療専門職情報は、主要４事業主のみの集計。
※　加入者情報は、平成２７年１月末日情報とした。

STEP１-２　保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組

予算科目	注1】事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者							事業費（千円）	振り返り			注2）評価
				資格	対象事業所	性別	年齢			対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
特定健康診査事業	1	特定健診	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診のデータをシステム連携等により入手	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員		受診者数　30,476人 実施率 94.4%	・事業主からのデータ連携及びデータ提供を推進	・健保加入外グループ会社出向者等のデータ入手	4
	1	特定健診（被扶養者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】健保契約機関での受診に加え、巡回型の健診を実施	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員		受診者数　6,903人 受診率　40.8%	・年2回、自宅宛に案内冊子を送付し、受診機会を拡大 ・未申込者に対して巡回型健診を実施（全国24カ所） ・機関誌、ＨＰでの受診勧奨実施 ・ポスターの掲示	・目標に対し低水準 ・受診意欲向上のため事業主との連携強化 ・新規受診者の増加を図る ・更なる受診機会、契約先の拡充が必要（巡回健診地域の拡大や貸切り健診等）	2
	1	特定健康診査合計	【目的】特定健康診査 【概要】合計								76,992				
特定保健指導事業	3	特定保健指導（被保険者）	【目的】特定保健指導の実施率向上 【概要】事業主（健康管理センター）と健保（外部委託業者）と分担し共同実施	被保険者	全て	男女	30	～	74	基準該当者		受診者数　894人 受診率　12.8%	・就業中の指導及び事業所内での実施 ・新規に外部委託業者を利用する事業主への説明会の実施、担当者との連携	・目標に対し低水準 ・外部委託業者の拡充及び同一人物の限度制限（2回まで）、対象年齢の拡大等の運用見直し ・受診意欲向上のため事業主との連携強化	2
	3	特定保健指導（被扶養者）	【目的】特定保健指導の実施率向上 【概要】健診機関及び外部委託で実施	被扶養者	全て	男女	30	～	74	基準該当者		受診者数　34人 受診率　6.3%	・指導実施場所等、幅広く、柔軟に対応できる外部事業者の活用	・目標に対し低水準 ・外部委託業者の拡充 ・意識向上に向けた施策の検討	1
		特定保健指導合計	【目的】特定保健指導 【概要】合計								30,586				
	7	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の醸成 【概要】健保の事業計画、予算、財政状況、健保を取りまく環境、法改正等を組合員に広報し、健保事業への理解と協力を深めるとともに、読みやすく、分かりやすい機関誌の発行	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	4,152	年2回（春・秋）	・被保険者に事業主経由での配布 ・HPでの公開	・情報発信の強化 ・発行回数の増加（年4回） ・分かりやすく読んでもらえる誌面づくり（カラー化）	5
	7	健保のしおり（概要）発行	【目的】健康保険の仕組を案内 【概要】新入社員向け資料を発行	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	150	年1回（春）	・新入社員に事業主経由での配布 ・HPでの公開	・分かりやすい誌面づくり	5

STEP１-２　保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

保健指導宣伝	1	健診案内発行	【目的】健診の案内・受診率向上 【概要】申込方法・契約健診機関等をわかりやすく紹介し、被保険者および被扶養者の受診率向上を図る	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	全員	10,268	年2回（春・秋）	・被保険者には事業主経由での配布 ・被扶養配偶者には自宅へ送付。上期、未申込者には秋に再送付する事で意識喚起 ・健診機関のキャンペーンチラシ同封 ・HPでの公開	・分かりやすく読んでもらえる誌面づくり	5
	4	健康力アップ活動	【目的】組合員の健康増進、意識向上 【概要】生活習慣病の予防・改善や健康増進を目的として、6か月単位での参加型プログラムを用意。自らの生活改善にチャレンジする者をサポートする	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	基準該当者	2,025	年2回（開始時期はいつでも可） 参加者数　14,290人 達成者数　7,993人	・冊子の配布 ・HPでの公開 ・紙とWebでの申込み受付	・事業所ごとの偏りが大きい ・参加者の固定化 ・新規参加者の増加を図る ・参加意欲向上のため事業主との連携強化	3
	4	ヘルスポイント	【目的】組合員の健康増進・意識向上、医療費の適正化 【概要】健診受診や自主的な健康増進の取り組みに対するインセンティブとしてポイント制度を導入	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	基準該当者	44,036	以下の対象者にポイント進呈 ・健康力アップ活動達成者　7,870人 ・配偶者健診受診者　7,639人 ・任意継続健診受診者　132人 ・がん検診受診者　9,710人 ・メタボ非該当者　25,458人 ・メタボ改善者　2,665人 ・健康者表彰者　7,714人	・ヘルスポイント券は被保険者の自宅へ送付 ・ポイント取得状況をHPで公開	・契約健診機関でヘルスポイントが使用可能であることを周知し、各種健診受診者数の増加を図る ・ヘルスポイントの付与方法の検討 　①タイムリーなポイント付与（年1回の付与を年2回へ） 　②対象者の年齢による付与点数の差別化	3
	5	健康医療相談	【目的】健康・医療に関する相談機会の確保・早期対応 【概要】電話による健康医療相談、メンタルヘルスに関するカウンセリングを専門事業者に委託	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	8,948	・電話健康相談　2,170件 ・メンタルヘルス面談カウンセリング　118件 ・メンタルヘルス電話カウンセリング　230件	・フリーダイヤル（無料） ・24時間利用可能 ・機関誌やHPでPR	・健康医療相談があることの更なる周知	3
	7	ジェネリック	【目的】ジェネリック医薬品の利用促進 【概要】ジェネリック医薬品差額通知を個人に送付し、ジェネリックへの理解と切り替えの促進を行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	3,392	年2回（春・秋） ・後発医薬品に切り替え可能な対象者に対して差額通知を送付 ・通知者数　9,984人	・継続的な取り組み ・保険証に貼付できるジェネリックお願いシールの配布 ・HPでの公開	・厚生労働省の目標80%に向けた取り組み	4
	7	ホームページ	【目的】分かりやすく利便性の高い情報発信 【概要】各種情報に加え、手続き方法や書類を分かりやすく掲載	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員		各種情報や手続き方法、書類を掲載	・各種情報を適宜更新	・より見やすく分かりやすいHPの検討	1
	7	医療費通知	【目的】医療費情報の確実な理解 【概要】受診状況や還付金の情報を通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員		月1回、Webでの情報通知	・継続的な取り組み ・Webで受診状況か還付金の情報を世帯分まとめて被保険者に通知	・より確実な周知を図るため、Webでの通知に加え、紙での通知を検討	5

STEP１-２　保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

		保健指導宣伝合計	【目的】保健指導宣伝 【概要】合計							79,303				
疾病予防	1	基本健診（若年被扶養者健診）	【目的】若年層の受診機会の拡大 【概要】健診受診の対象を30歳以上として実施し、費用の一部補助を行う	被扶養者	全て	男女	30	～	39	全員		受診者数　1,523人	・年に2回、自宅宛に案内冊子を送付し、受診機会の拡大推進 ・未申込者に対して巡回型健診を実施（全国24カ所） ・機関誌、HPでの受診勧奨実施	・受診率に地域差があり、受診者が固定化 ・新規受診者の増加 ・更なる受診機会、契約先の拡充が必要（巡回健診地域の拡大や貸切り健診等）	1
	1	人間ドック	【目的】受診率向上 【概要】健診受診の対象を30歳以上として実施し、費用の一部補助を行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	全員		被保険者受診者数　184人 被扶養者受診者数　166人	・年に2回、自宅宛に案内冊子を送付し、受診機会の拡大推進 ・機関誌、HPでの受診勧奨実施	・受診率に地域差があり、受診者が固定化 ・新規受診者の増加を図る ・補助増額について要検討	1
	1	がん検診	【目的】各疾患の早期発見・受診率向上 【概要】がん検診について受診しやすい環境を整備し、受診率の向上・早期発見に繋げる	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	全員	100,530	受診者数（内　被保険者人数） ・大腸がん　4,776人（286）人 ・肺がん　352（91）人 ・胃がん　4,894（441）人 ・乳がん　8,564（1,747）人 ・子宮がん　7,379（1,502）人 ・前立腺がん　1,005（994）人	・基本健診オプションとして案内	・受診率に地域差があり、受診者が固定 ・新規受診者の増加 ・更なる受診機会、契約先の拡充が必要（巡回健診地域の拡大や貸切り健診等）	3
	1	がん以外の検診	【目的】各疾患の早期発見・受診率向上 【概要】肝炎、眼圧、骨密度、腹部エコーについても費用を一部補助し、受診率の向上・早期発見に繋げる	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	全員	118,538	受診者数（内　被保険者数） ・肝炎　881（69）人 ・眼圧　1,524（59）人 ・骨密度　1,759（351）人 ・腹部エコー　3,784（726）人	・基本健診オプションとして案内	・受診率に地域差があり、受診者が固定化 ・新規受診者の増加 ・更なる受診機会、契約先の拡充が必要（巡回健診地域の拡大や貸切り健診等）	1
	1	歯科検診	【目的】う歯予防や口腔ケアの推進のため受診率向上、歯科医療費の適正化 【概要】委託先での無料検診	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員		受診者数　143人	・委託業者が提携している全国の歯科医院での受診が可能	・利用者増への施策検討	1
	3	重症化予防（糖尿病）	【目的】糖尿病罹患者の重症化を防止 【概要】糖尿病性腎症の高リスク者を対象に、重症化を予防するための保健指導を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	基準該当者	6,525	・年1回 ・参加者数　31人	・事業主経由での受診勧奨 ・就業時間や面談場所の配慮を事業主に依頼	・長期的な効果測定が必要 ・適切な対象者抽出方法の検討 ・事業主との連携による参加者数の拡大	4

STEP１-２　保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

体育奨励	4	スポーツクラブ利用補助	【目的】運動機会の提供・新たに運動を始める者を増やす 【概要】契約スポーツクラブの利用費を一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	5,082	契約先　利用人員（延べ） ・コナミスポーツ　18,009人 ・セントラルスポーツ　1,114人 ・テップネス（千葉）　1,473人 ・アクトス　653人	・利用要領、キャンペーンのHPでの公開 ・法人契約により、割安で利用できる	・スポーツクラブの拡充 ・利用者の固定化 ・新規利用者の増加を図る為、PR施策の検討	1
直営保養所	7	保養所	【目的】組合員のリフレッシュ 【概要】直営保養所の運営、契約保養所の利用補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	311,316	・保有保養所（6か所） 利用者 18,400人 ・契約保養所 利用者 7,300人	・機関誌への掲載 ・空き状況をHPで公開	・利用者の減少 ・料金形態の見直しの検討（平日の値下げ検討）	1
その他	7	重複・頻回受診者に対する指導	【目的】薬剤費、医療費の適正化と医薬品の飲み過ぎによる事故の防止 【概要】医療機関での重複・頻回受診や同系医薬品の処方が一定以上ある者に対して指導を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員		随時、該当者を確認した時点で被保険者を通じて対応を行う	・継続的な取り組み	・個別対応（訪問による状況の確認、指導）の検討	1
	7	柔道整復師	【目的】柔道整復師の適正受診の周知 【概要】多数回受診者への適正受診の理解を促す	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員		随時、該当者を確認した時点で委託業者を通じて対応を行う	・継続的な取り組み ・機関誌やHPでPR	・診療実績の通知を検討	1
（予算措置なし）															

STEP１-２　保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

事業主の取組

事業名	事業の目的および概要	対象者					振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢			実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
定期健康診断	・安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18	～	64	・実施率　97.4%	・各健康管理センターを中心に実施		無
雇入れ健診	・安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18	～	64	・実施率　100%	・入社時に完全実施		無
健康診断事後処置	・要治療等介入が必要な対象者への受診勧奨や就業上の配慮等の対応	被保険者	男女	18	～	64	・産業医が個別の状況を把握 ・対象者に対して産業医面談、保健指導を実施	・必要に応じて産業医が紹介状を準備し受診勧奨		無
ストレスチェック	・全社員を対象にストレスチェックを実施	被保険者	男女	18	～	64	・ストレスチェックの実施 ・実施率　89%	・新規にシステム構築し実施		無
禁煙対策	・禁煙対策の促進	被保険者	男女	20	～	64	・完全分煙 ・禁煙セミナーの開催			無
インフルエンザ予防接種	・インフルエンザ予防接種を社内で実施 ・費用の補助	被保険者 被扶養者	男女	0	～	74	・社員や家族を対象に実施			無

注１）　１．健康診査　　２．健康診査後の通知　　３．保健指導　　４．健康教育　　５．健康相談　　６．訪問指導　　７．その他

注２）　１：３９%以下　　２：４０%以上　　３：６０%以上　　４：８０%以上　　５：１００%以上

各事業については、加入者への情報発信部分と健康保持・増進のための施策に分かれている。
インセンティブ制度を導入しているが、周知が不十分な点もあり、発信強化に努めていく。
事業主が100を超えており、全事業主に対する発信や周知徹底に困難が伴う。
現状は、事業主との連携も不十分でるが、今後は保健事業に対する情報発信力を強化するとともに連携を深めていくよう取組みを進めている。
事業主との連携を深める中で、事業主が実施している取組み内容をさらに把握していく。

STEP１-３　(健診結果とレセプト突合分析)

〇生活習慣病の受診履歴がない者は6割弱となっているものの、そのなかで受診が必要な者が約4割を占めている。

〇生活習慣病の受診履歴がある者は4割強にのぼっている。そのなかで生活習慣にかかわる検査数値をコントロールできていない者が
０．５%程度存在している。

〇医療費総額を見ると、被保険者が49．７%、被扶養者が50．３%を占めている。

〇加入者当たり医療費では、40代後半から増加している。

〇当健保では、50歳以上の加入者が多く、全体に占める医療費割合でも50～64歳層の割合が高くなっている。

〇年代別加入者当たり医療費では、男性被保険者で55～64歳層で他健保との比率で高くなっている。

〇医療費全体に占める生活習慣病が占める割合は18．３%であり、そのうち47．８%は重症化疾患となっている。

〇2型糖尿病の罹患率は、加齢とともに上昇しているが、被保険者で50歳、被扶養者で55歳で10%を超えている。

STEP２　健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

特徴

基本情報

○　年齢構成をみると、男性被保険者のの５５～６４歳の層で多くなっている。
○　適用事業所数が１００を超えているうえ、拠点数を把握できていない。

保健事業の実施状

○　特定健診・特定保健指導に限らず、がん検診補助等の疾病予防策も実施している。
○　自主的な健康増進策としての「健康力アップ活動」を展開しているが、参加状況・達成状況ともに、特定事業主に偏っており、参加者も固定化してきている。
○　インセンティブ制度としての「ヘルスポイント制度」は、スタート４年目を迎え、徐々に定着してきている。

対策の方向性

対策検討時に留意すべき点

○　６１歳以上者については、原則特定保健指導の対象から除外しており、重症化予防策の実施にあたっては、この層に対する施策を考慮すべきである。
○　その際、事業主との連携をどう図っていくかは大きな課題となるが、専属の産業保健スタッフを雇用しているところは多いとはいえない。

○　「健康力アップ活動」について、参加者の拡大にむけて事業主との連携も考慮しつつ、工夫が必要。
○　「ヘルスポイント制度」は、特に被扶養配偶者への周知に注力しながら、一層の定着をめざす。

STEP３　保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1）事業分類		事業名	事業の目的および概要	対象者							注2）実施主体	実施計画			目標（達成時期　：　平成29年度末）	
					資格	対象事業所	性別	年齢			対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
職場環境の整備																	
その他	7	既存	職員研修	【目的】職員の知識向上 【概要】健保所属の職員の研修、講習会参加補助								1	・健保連やその他外部機関主催の研修、講習会への参加	・継続 ・健康経営、データ分析、データヘルス計画関連の講習会への参加増加	・継続	・研修会等への参加人数　20人	
（予算措置なし）	7	新規	事業主との連携による職場環境の整備	【目的】事業主との連携 【概要】事業主との連携について規模を勘案しての取組みを実施		全て						1	・1,000人以上の事業主への訪問と健保施策への理解促進 ・全事業主（100超）に対する説明会開催	・継続 ・主たる事業主2社と定期的な協議の場を設定（7月、2月）	・継続 ・500人以上の事業主への訪問と健保施策への理解促進、今後の連携について協議	・500人以上の事業主20社への訪問	・全事業主への説明会（年1回） ・主たる事業主との定期的な協議開催（年2回）
	7	新規	健康情報の発信及び事業主との情報共有	【目的】事業主への情報発信、情報共有による健康意識向上 【概要】医療費分析および健診結果を事業主毎にまとめた「健康白書」を発行し、各事業主との情報共有を行う	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・健康白書の具体的な内容、項目の検討	・健康白書の作成 ・事業主への情報提供開始 ・安全衛生委員会での健保施策の説明 ・労働組合研修会での健保施策の説明	・継続	・健康白書の発行 ・被保険者500人以上の事業主20社への説明・情報共有	・JFEグループとして健康宣言を行う事
加入者への意識づけ																	
保健指導宣伝	7	既存	機関紙発行	【目的】情報発信、健康意識の醸成 【概要】健保の事業計画、予算、財政状況、健保を取り囲む環境、法改正等を組合員に広報し、健保事業への理解と協力を深めるとともに、読みやすく、分かりやすい内容にする	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・継続 ・年2回（春・秋）発行 ・在職被保険者には事業主経由で配布。任意継続被保険者には自宅へ送付 ・HPでの公開 ・内容の抜本的な見直し検討	・継続 ・年2回を年4回発行とし、タイムリーに情報提供 ・白黒からカラーに変更し、読みやすく分かりやすい誌面づくり ・特定保健指導の成功体験段の掲載	・継続	・機関誌発行回数　年4回 ・被保険者への配布率　100%	
	7	既存	ホームページ	【目的】分かりやすく利便性の高い情報発信 【概要】各種情報に加え、手続き方法や書類を分かりやすく掲載	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	・各種情報を適宜更新	・継続	・より見やすく分かりやすいHPの検討	・HPの見直し	・アクセス数　10%増
	7	既存	医療費通知	【目的】医療費情報の確実な理解 【概要】受診状況や還付金の情報を通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	・受診状況や還付金の情報を世帯分まとめて被保険者に通知する（毎月Webに掲載）	・継続 ・Webでの通知に加え、より確実な周知を図ることから、紙での通知を検討	・継続	・Webでの通知　月1回 ・紙での通知　年1回	・配布率　100%
	7	既存	ジェネリック通知	【目的】ジェネリック医薬品の利用促進 【概要】ジェネリック医薬品差額通知を個別に送付し、ジェネリックへの理解と切り替えの促進を行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・年2回、後発医薬品に切替可能な対象者に対して差額通知を送付	・継続 ・機関誌でPRするとともに、ジェネリックお願いシールを全員に配布	・継続	・差額通知発行　年2回 ・対象者への送付率　100%	・ジェネリック利用率 80%以上（数量ベース）
	7	既存	健保のしおり（概要）発行	【目的】健康保険の仕組みを案内 【概要】新入社員向け資料を発行	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・継続 ・新入社員に事業主経由で配布 ・内容をHPで公開	・継続	・継続	・発行　年1回	・新入社員への配布率　100%
個別の事業																	

STEP３　保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1）事業分類		事業名	事業の目的および概要	対象者						注2）実施主体	実施計画			目標（達成時期　：　平成29年度末）	
					資格	対象事業所	性別	年齢			対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
特定健康診査事業	1	既存（法定）	特定健診（被保険者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】事業主が行う定期健診のデータをシステム連携等により入手	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員	2	・継続 ・健診データの確実な回収 ・任意継続者に対して健診の案内を自宅送付	・継続 ・健保加入外グループ会社出向者の健診データ回収 ・健診機関からデータを直接受け取れるよう、事業主、健診機関、健保との3者契約の拡大	・継続 ・任意継続者の受診率向上に向けた施策検討	・健診結果が回収できていない事業主全てに提供の協力の依頼 100% ・3者契約の拡大　5社	・受診率　97%（H27年度 94.4%）
	1	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	【目的】特定健診の受診率向上 【概要】健保契約機関での受診に加え、巡回型の健診を実施	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	3	・継続 ・自宅宛に案内冊子を送付（3月） ・上期未申込者には冊子を再送付（10月） ・機関誌、HPでの受診勧奨 ・事業主での受診勧奨チラシ配布、ポスターの掲示	・継続 ・巡回健診の日数増 ・事業主を通じた個別受診勧奨 ・長期未受診者に対しての電話による受診勧奨（試行） ・契約健診機関での貸切日の設定（試行）	・継続 ・前年度に試行した施策の評価を踏まえ本格実施	・5年間未受診者への電話勧奨 3,200人 ・契約健診機関、巡回健診、貸切り健診の実施数　5か所以上増加 ・事業主経由での受診勧奨　20事業主	・受診率60%（H27年度 40.8%）
特定保健指導事業	3	既存（法定）	特定保健指導（被保険者）	【目的】特定保健指導の実施率向上 【概要】事業主（健康管理センター）と健保（外部委託業者）と分担しつつ共同実施	被保険者	全て	男女	30	～	74	基準対象者	3	・継続 ・事業主への説明と指導にあたっての就業時間や就業場所への配慮依頼 ・外部委託業者への働き掛け	・継続 ・事業主と連携し、地区ごとに実施率向上への対策検討 ・外部委託業者の拡充 ・機関誌で重要性の周知を図る	・継続 ・現状では積極的支援のみとしている指導内容を、積極的支援と動機付け支援の2種類に内容を見直し ・実施要領が未確立の事業主、地区での説明会開催	・事業主への説明会の実施回数 10回 ・機関誌でのPR　年1回	・受診率　25%
	3	既存（法定）	特定保健指導（被扶養者）	【目的】特定保健指導の実施率向上 【概要】健診機関及び外部委託で実施	被扶養者	全て	男女	30	～	74	基準対象者	1	・継続 ・健診の案内時に、保健指導の対象となった場合には受診するよう周知を図る	・継続 ・外部委託業者の拡充、対象者への案内通知方法の検討 ・機関誌で重要性の周知を図る	・継続 。現状では積極的支援のみとしている指導内容を、積極的支援と動機付け支援の2種類に内容を見直し	・対象者への案内文書送付率 80%	・受診率　16%
保健指導	1	既存	健診案内発行	【目的】健診の案内、受診率の向上 【概要】申込方法・契約健診機関等を分かりやすく紹介し、被保険者および被扶養者の受診率向上を図る	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	全員	1	・継続 ・在職被保険者には事業主経由で配布。任意継続被保険者・被扶養配偶者には自宅へ送付（3月） ・上期未申込の被扶養配偶者へ再送付し受診勧奨（10月） ・申込書等をHPで公開 ・健診機関のキャンペーン等PRチラシの同封	・継続 ・健診未受診者に対して受診勧奨文を同封	・継続 ・前年度の反応を踏まえ、継続 ・掲載内容、分かりやすい誌面づくりの検討	・対象者への配布率　100%	-
	4	既存	健康力アップ活動	【目的】組合員の健康増進、意識向上 【概要】生活習慣病の予防・改善や健康増進を目的として、6か月単位での参加型プログラムを用意。自らの生活改善にチャレンジする者をサポートする	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	1	・案内冊子の配布およびHPでの公開 ・紙とWebでの申込受付	・継続 ・事業主への働き掛け強化	・継続	・対象者への冊子配布率 100%	・参加率　30%（H27年度 15%）

STEP３　保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1）事業分類		事業名	事業の目的および概要	対象者						注2）実施主体	実施計画			目標（達成時期　：　平成29年度末）	
					資格	対象事業所	性別	年齢			対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
疾病予防	4	既存	ヘルスポイント	【目的】受診率向上、健康増進、医療費の適正化 【概要】健診受診や自主的な健康増進の取り組みに対するインセンティブとしてポイント制度を導入	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～ 74		全員	1	・継続 ・当該年度の獲得ポイントを翌年度に自宅へ送付 ・健診以外にも広くポイントを使用できるよう利便性を向上 ・ポイント取得状況はHPで確認可能	・継続 ・新たなポイント付与方法や付与時期等、制度変更を検討 ・機関誌への掲載	・継続	・機関誌への掲載　年1回	・発行ポイント数　10%増 （H27年度　76,489千pt）
	5	既存	健康医療相談	【目的】健康・医療に関する相談機会の確保・早期対応 【概要】電話による健康医療相談、メンタルヘルスに関するカウンセリングを専門事業者へ委託	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～ 74		全員	1	・継続 ・フリーダイヤル（無料）で24時間相談可能 ・希望者へは面談を実施 ・機関誌、HPでPR	・継続 ・相談窓口について改めて事業主に周知し、利用促進	・継続	・機関誌への掲載　年1回	・相談件数　10%増 （H27年度実績） 健康相談　2,170件 メンタル相談　230件 メンタル面談　118件
	1	既存	基本健診（若年被扶養者健診）	【目的】若年層の受診機会の拡大、受診率向上 【概要】健診受診の対象を30歳以上として実施し、費用の一部補助を行う	被扶養者	全て	男女	30	～ 39		全員	3	・継続 ・年2回、自宅宛に案内冊子を送付し、受診機会の拡大を推進 ・未申込者に対して巡回型健診を実施 ・機関誌、HPでの受診勧奨実施 ・事業主での受診勧奨チラシの配布、ポスターの掲示	・継続 ・巡回健診の拡大 ・事業主を通じた個別受診勧奨	・継続 ・特定健診（被扶養者）で試行した施策の適用	・契約健診機関、巡回健診5カ所以上増加	・受診者数 10%増（H27年度1,727人）
	1	既存	人間ドック	【目的】受診率向上（健診の充実） 【概要】健診受診の対象を30歳以上として実施し、費用の一部補助を行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～ 74		全員	1	・継続 ・年2回、自宅宛に案内冊子を送付し、受診機会の拡大推進 ・対象者の居住地区に合わせた契約健診機関の拡充 ・機関誌、HPでの受診勧奨	・継続 ・健診の案内にキャンペーンチラシを同封	・継続	・契約健診機関の増加　3か所以上 ・機関誌、HPでの掲載記事の拡大	・受診者 10%増 （H27年度実績 被保険者184人、被扶養者166人）
	1	既存	がん検診（被保険者）	【目的】各疾患の早期発見・受診率向上 【概要】がん検診について受診しやすい環境を整備し、受診率の向上・早期発見に繋げる	被保険者	全て	男女	30	～ 74		全員	3	・継続 ・在職被保険者には事業主経由で案内冊子を配布。任意継続被保険者には自宅へ送付	・継続 ・機関誌、HPでのPR	・継続	・案内配布　年1回 ・対象者への案内配布率　100%	・各種がん検診の受診者数　10%増
	1	既存	がん検診（被扶養者）	【目的】各疾患の早期発見・受診率向上 【概要】がん検診について受診しやすい環境を整備し、受診率の向上・早期発見に繋げる	被扶養者	全て	男女	30	～ 74		全員	3	・健診案内冊子を自宅へ送付 ・健診機関、巡回健診の場所の拡充	・健診案内に当健保の被扶養配偶者の健康課題を掲載し受診勧奨 ・貸切り健診のコースに予めがん検診を組込み（試行）	・前年度試行した施策の評価を踏まえ本格実施	・案内配布　年1回（健診未申込者には年2回） ・対象者への案内配布率　100% ・巡回健診の増加　２カ所	・各種がん検診の受診者数　10%増
	1	既存	がん検診以外の検診（被保険者）	【目的】各疾患の早期発見・受診率向上 【概要】肝炎、眼圧、骨密度、腹部エコーにつても費用を一部補助し、受診率の向上、早期発見に繋げる	被保険者	全て	男女	30	～ 74		全員	3	・在職被保険者には事業主経由で案内冊子を配布。任意継続被保険者には自宅へ送付	・継続 ・機関誌、HPでPR	・継続	・案内配布　年１回 ・対象者への案内配布　100%	・各種検診の受診者数　10%増
	1	既存	がん検診以外の検診（被扶養者）	【目的】各疾患の早期発見・受診率向上 【概要】肝炎、眼圧、骨密度、腹部エコーにつても費用を一部補助し、受診率の向上、早期発見に繋げる	被扶養者	全て	男女	30	～ 74		全員	3	・案内冊子を自宅へ送付 ・健診機関、巡回健診の場所の拡充	・継続 ・健診案内に当健保の被扶養配偶者の健康課題を掲載し受診勧奨	・継続	・案内配布　年１回（健診未申込者には年２回） ・対象者への案内配布率　100% ・巡回健診の増加　２カ所	・各種検診の受診者数　10%増

STEP３　保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1）事業分類		事業名	事業の目的および概要	対象者						注2）実施主体	実施計画			目標（達成時期　：　平成29年度末）	
					資格	対象事業所	性別	年齢			対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
体育奨励	1	既存	歯科検診	【目的】う歯予防や口腔ケアの推進のため受診率向上、歯科医療費の適正化 【概要】委託先での無料検診	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～ 74		全員	1	・継続 ・委託業者が提携している全国の歯科医院で無料歯科検診が受診できる ・要領等のHPへの掲載	・継続 ・利便性向上に向けた施策の検討	・継続	・機関誌への掲載　年1回	・歯周病・う触での治療のべ件数5%減 ・受診者数　10%増
	3	既存	重症化予防（糖尿病）	【目的】糖尿病罹患患者の重症化を防止 【概要】糖尿病性腎症の高リスク者を対象に、重症化を予防するための保健指導を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～ 74		基準対象者	1	・事業主の理解を得るとともに、主に西日本地区の対象者に受診勧奨を行う	・東日本地区の対象者に受診勧奨 ・前年度指導完了者へのフォロー実施	・継続 ・その他地区の対象者に受診勧奨 ・前年度指導完了者へのフォロー実施 ・対象者の抽出、受診勧奨方法の検討 ・次年度以降の取組み、終了者の追跡方法についての検討	・受診率　60%以上 ・指導完了率　100%以上	・継続的受診者の把握 ・指導実施者のHbA1c目標範囲内維持者の割合　60% ・指導実施者の新規透析移行者数　0人
	3	既存	重症化予防（血圧・脂質）	【目的】血圧・脂質関連疾患の重症化予防 【概要】血圧および脂質の健診結果数値から対象者を抽出し、受診勧奨を行う	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～ 74		基準対象者	1		・対象とする項目及び抽出する基準、具体的な実施要領について検討			
	4	既存	スポーツクラブ利用補助	【目的】運動機会の提供・新たに運動を始める者を増やす 【概要】契約スポーツクラブの利用費を一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～ 74		全員	1	・継続 ・法人契約による割安な利用料の提供 ・HPへの掲載、キャンペーンの告知	・継続 ・契約施設の拡大、機関誌への掲載 ・利用者増加に向けて契約施設との検討会実施	・継続	・利用者数　10%増加 ・契約施設の増加　1カ所 ・機関誌への掲載　年1回	・運動習慣がある者の割合　5%増
直営保養所	7	既存	保養所	【目的】組合員のリフレッシュ 【概要】直営保養所の運営、契約保養所の利用補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～ 74		全員	1	・継続 ・直営保養所の運営 ・事業主の研修、懇親会等の利用 ・契約保養所の利用補助 ・機関誌、HPへの掲載	・継続 ・管理委託契約の見直しによるサービス向上 ・直営保養所利用者へ感想等のヒアリングを行い、改善点の検討（料金見直し検討含む）	・継続	・利用者数　10%増	
その他	7	既存	重複・頻回受診者に対する指導	【目的】薬剤費・医療費の適正化と医薬品の飲みすぎによる事故の防止 【概要】医療機関での重複・頻回受診や同系医薬品の処方が一定以上ある者に対する指導を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～ 74		基準対象者	1	・該当者が確認された時点で被保険者を通じて指導を実施	・継続	・継続 ・個別の訪問による状況確認、指導の検討	・機関誌でのPR　年1回	・該当者への指導　100%
	7	既存	柔道整復師	【目的】柔道整復師の適正受診の周知 【概要】多数回受診者への適正受診の理解を促す	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～ 74		基準対象者	1	・該当者が確認された時点で委託事業者を通じて指導を実施	・継続 ・機関誌でのPR ・診療実績の個別通知を実施	・継続	・機関誌でのPR　年1回	・個別通知実施　100%

注1）　1．健康診査　　2．健康診査後の通知　　3．保健指導　　4．健康教育　　5．健康相談　　6．訪問指導　　7．その他
注2）　1．健保組合　　2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用　　3．健保組合と事業主との共同事業

STEP１-４　健康マップ

被保険者

健康ﾏｯﾌﾟ（生活習慣病からみた分布）　期間：　201304～201403　対象年齢：　30～74歳　事業所：自健保 標準母集団:健保全体

未通院（生活習慣病のレセプトが無い人）				通院/入院（生活習慣病のレセプトがある人）			
正常	不健康な生活	患者予備群	治療放置群	生活習慣病	重症化	生活機能の低下	再発予備群
正常値ﾚﾍﾞﾙ	保健指導が必要なﾚﾍﾞﾙ	病院で診察を受けたほうが良いﾚﾍﾞﾙ	治療する必要があるﾚﾍﾞﾙ	合併症はない	合併症に進行しています	重篤な状態になっています	入院後の状態です
血糖：110mg/dl未満又はHbA1c5.6%未満 血圧：85/130mmHg未満 中性脂肪：150mg/dl未満又はLDL：120未満又はHDL：40以上	血糖：110mg/dl以上又はHbA1c5.6%以上 血圧：85又は130mmHg以上 中性脂肪：150mg/dl以上又はLDL：120以上又はHDL：40未満	血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上 血圧：90又は140mmHg以上 中性脂肪：300mg/dl以上又はLDL：140以上又はHDL：35未満	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上 血圧：100又は160mmHg以上 中性脂肪：400mg/dl以上又はLDL：160以上又はHDL：30未満	2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症のいずれかがあり、合併症はない状態	生活習慣病があり、糖尿病性合併症・脳血管疾患・動脈疾患・虚血性心疾患がある状態	入院を伴う四肢切断急性期・冠動脈疾患急性期・脳卒中急性期、および透析期の状態	「生活機能の低下」の該当が1年前にあったが、当該年度は入院はない状態

■該当者人数　（上段：当期）（下段：前期）

3,963	6,949	5,487	2,925	10,198	3,319	136	26
3,873	7,389	5,978	3,621	9,132	2,777	38	0

●該当者人数の構成割合（%）

12.0	21.1	16.6	8.9	30.9	10.1	0.4	0.1

●前年度構成割合(%)

11.8	22.5	18.2	11.0	27.8	8.5	0.1	0.0

●標準母集団（他健保71万人（対象者：52万人））の構成割合(%)　［対象者の平均年齢：48歳］

18.0	25.8	16.3	9.6	22.6	7.2	0.2	0.1

■該当者の1人当り医療費（平均値）（円）

93,072	81,027	76,858	73,794	235,940	503,067	3,003,156	1,346,114

●[上段]該当者の総医療費合計、[下段]会社が負担している費用（千円）

368,845	563,061	421,724	215,848	2,406,126	1,669,679	408,429	34,998
153,025	233,601	174,964	89,550	998,248	692,713	169,448	14,520

STEP１-４　健康マップ

◆健康ﾏｯﾌﾟを主要健診項目別に示します

[未通院]の人の主要健診項目別該当者数

[通院・入院]の人の主要健診項目別該当者数

	正常	不健康な生活	患者予備群	治療放置群	生活習慣病	重症化	生活機能の低下の状態	再発予備群
血糖	血糖：110mg/dl未満又はHbA1c5.6%未満	血糖：110mg/dl以上又はHbA1c5.6%以上	血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上
	3,963	2,493	231	266	930	619	13	0
血圧	血圧：85/130mmHg未満	血圧：85又は130mmHg以上	血圧：90又は140mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上
	3,963	2,245	2,182	525	731	195	14	1
脂質	中性脂肪：150mg/dl未満又はLDL：120未満又はHDL：40以上	中性脂肪：150mg/dl以上又はLDL：120以上又はHDL：40未満	中性脂肪：300mg/dl以上又はLDL：140以上又はHDL：35未満	中性脂肪：400mg/dl以上又はLDL：160以上又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上又はLDL：160以上又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上又はLDL：160以上又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上又はLDL：160以上又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上又はLDL：160以上又はHDL：30未満
	3,963	4,882	3,762	2,315	1,547	303	17	3

STEP１-４　健康マップ

被扶養者

健康ﾏｯﾌﾟ（生活習慣病からみた分布）　期間：　201304～201403　対象年齢：　30～74歳　事業所：自健保 標準母集団:健保全体

未通院（生活習慣病のレセプトが無い人）				通院/入院（生活習慣病のレセプトがある人）			
正常	不健康な生活	患者予備群	治療放置群	生活習慣病	重症化	生活機能の低下	再発予備群
正常値ﾚﾍﾞﾙ	保健指導が必要なﾚﾍﾞﾙ	病院で診察を受けたほうが良いﾚﾍﾞﾙ	治療する必要があるﾚﾍﾞﾙ	合併症はない	合併症に進行しています	重篤な状態になっています	入院後の状態です
血糖：110mg/dl未満又はHbA1c5.6%未満	血糖：110mg/dl以上又はHbA1c5.6%以上	血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症のいずれかがあり、合併症はない状態	生活習慣病があり、糖尿病性合併症・脳血管疾患・動脈疾患・虚血性心疾患がある状態	入院を伴う四肢切断急性期・冠動脈疾患急性期・脳卒中急性期、および透析期の状態	「生活機能の低下」の該当が1年前にあったが、当該年度は入院はない状態
血圧：85/130mmHg未満	血圧：85又は130mmHg以上	血圧：90又は140mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上				
中性脂肪：150mg/dl未満又はLDL：120未満又はHDL：40以上	中性脂肪：150mg/dl以上又はLDL：120以上又はHDL：40未満	中性脂肪：300mg/dl以上又はLDL：140以上又はHDL：35未満	中性脂肪：400mg/dl以上又はLDL：160以上又はHDL：30未満				

■該当者人数　（上段：当期）（下段：前期）

2,310	2,104	1,043	686	4,278	1,372	34	5
2,068	2,122	1,086	729	3,907	1,121	11	0

●該当者人数の構成割合（%）

19.5	17.8	8.8	5.8	36.2	11.6	0.3	0.0

●前年度構成割合(%)

18.7	19.2	9.8	6.6	35.4	10.2	0.1	0.0

●標準母集団（他健保34万人（対象者：16万人））の構成割合(%)　［対象者の平均年齢：50歳］

21.6	22.4	8.8	5.5	30.9	10.5	0.3	0.1

■該当者の１人当り医療費（平均値）（円）

83,345	94,495	94,639	81,139	271,268	545,240	3,023,144	1,979,140

●[上段]該当者の総医療費合計、[下段]会社が負担している費用（千円）

192,528	198,819	98,709	55,661	1,160,488	748,070	102,786	9,895
79,876	82,485	40,952	23,092	481,461	310,357	42,644	4,105

STEP１-４　健康マップ

◆健康ﾏｯﾌﾟを主要健診項目別に示します

[未通院]の人の主要健診項目別該当者数

[通院・入院]の人の主要健診項目別該当者数

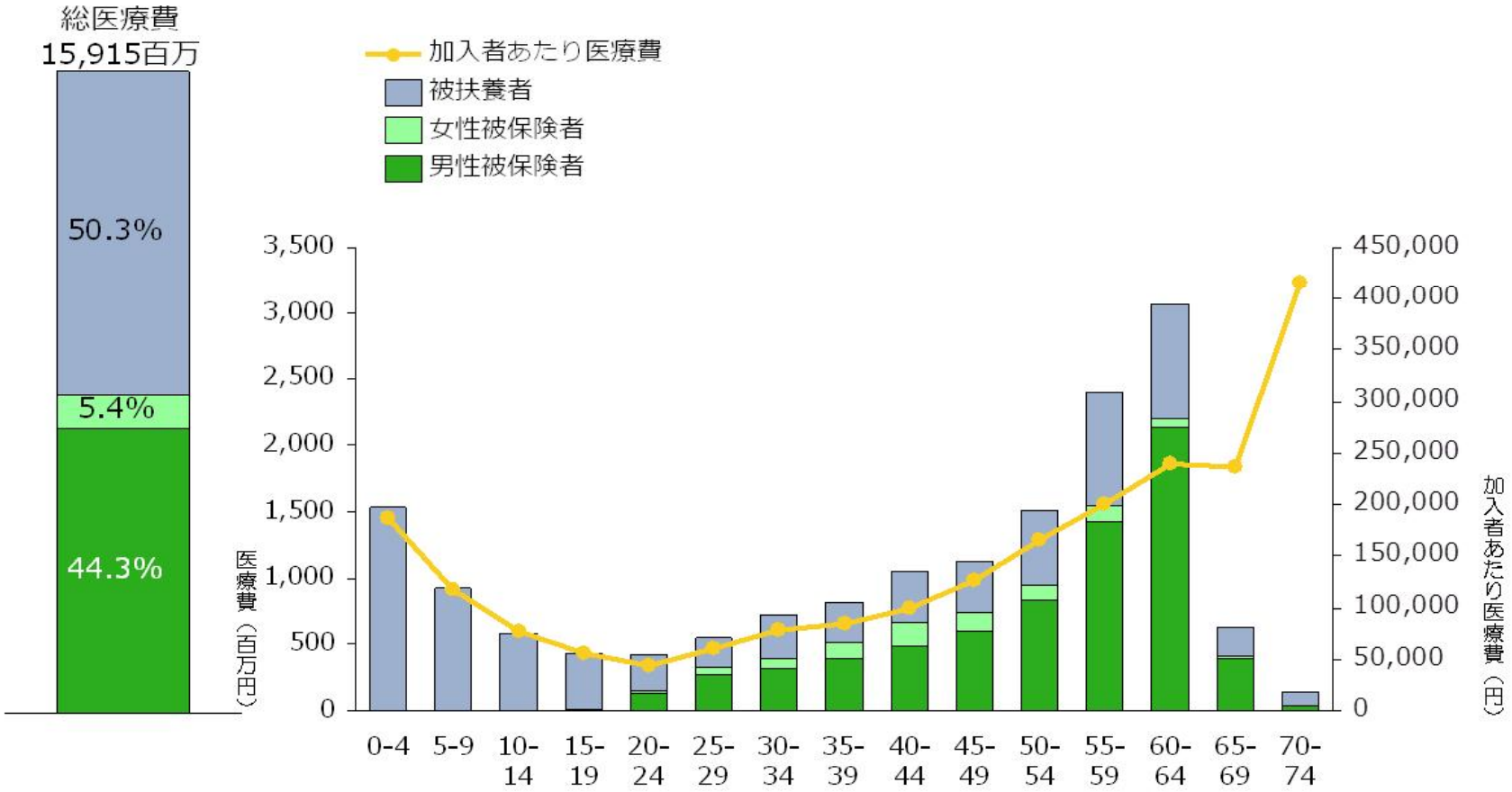
	正常	不健康な生活	患者予備群	治療放置群	生活習慣病	重症化	生活機能の低下の状態	再発予備群
血糖	血糖：110mg/dl未満又はHbA1c5.6%未満	血糖：110mg/dl以上又はHbA1c5.6%以上	血糖：126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上	血糖：140mg/dl以上又はHbA1c7.0%以上
	2,310	901	17	19	46	37	1	0
血圧	血圧：85/130mmHg未満	血圧：85又は130mmHg以上	血圧：90又は140mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上	血圧：100又は160mmHg以上
	2,310	397	220	55	64	18	0	0
脂質	中性脂肪：150mg/dl未満 又はLDL：120未満 又はHDL：40以上	中性脂肪：150mg/dl以上 又はLDL：120以上 又はHDL：40未満	中性脂肪：300mg/dl以上 又はLDL：140以上 又はHDL：35未満	中性脂肪：400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満	中性脂肪：400mg/dl以上 又はLDL：160以上 又はHDL：30未満
	2,310	1,369	864	639	271	54	0	0

STEP１-５　レセプト分析（医療費）

【総額】

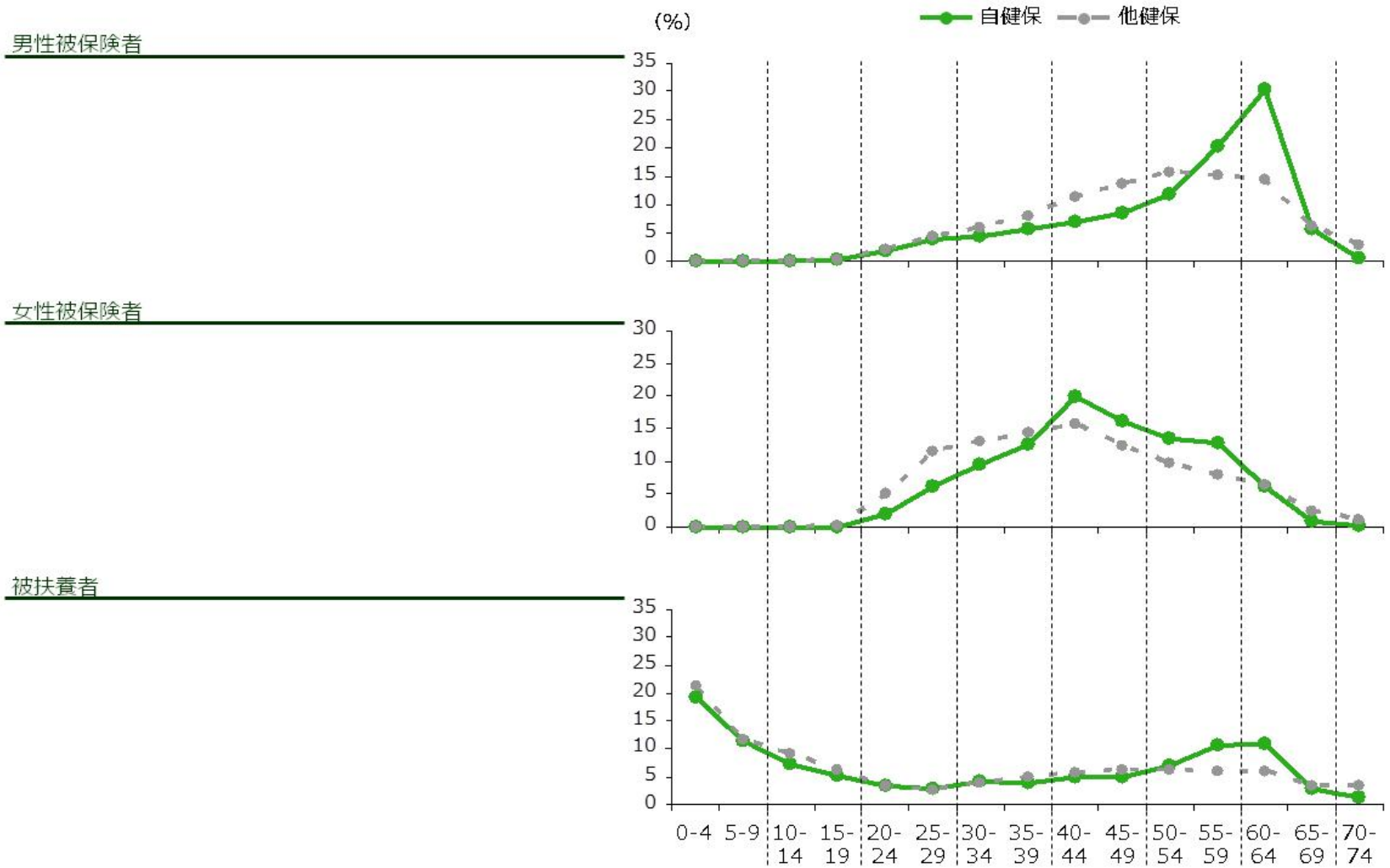
- 全体の医療費割合は被保険者が49.7%、被扶養者が50.3%を占める
- 加入者あたり医療費では40代後半から増加
- 自健保は50代以上の組合員が多いため、全体に占める医療費割合も高い

【分析定義】
■医療費対象：入院・通院・調剤



STEP１-５　レセプト分析（医療費）

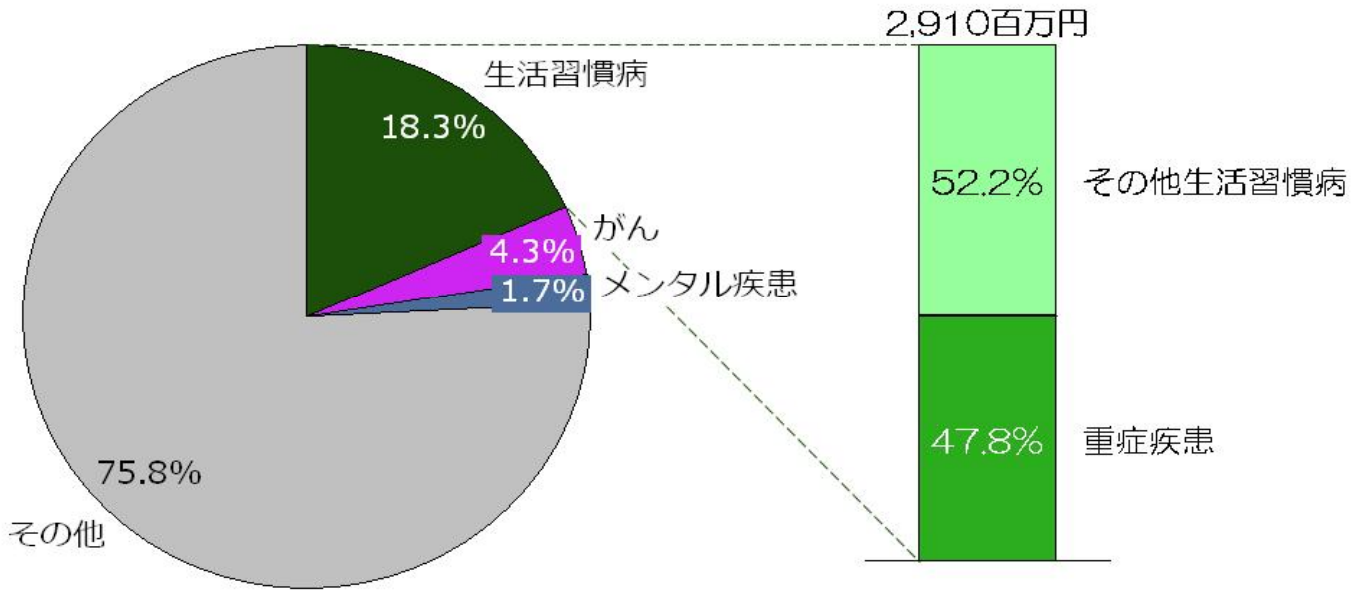
【年代別加入者あたり医療費割合】

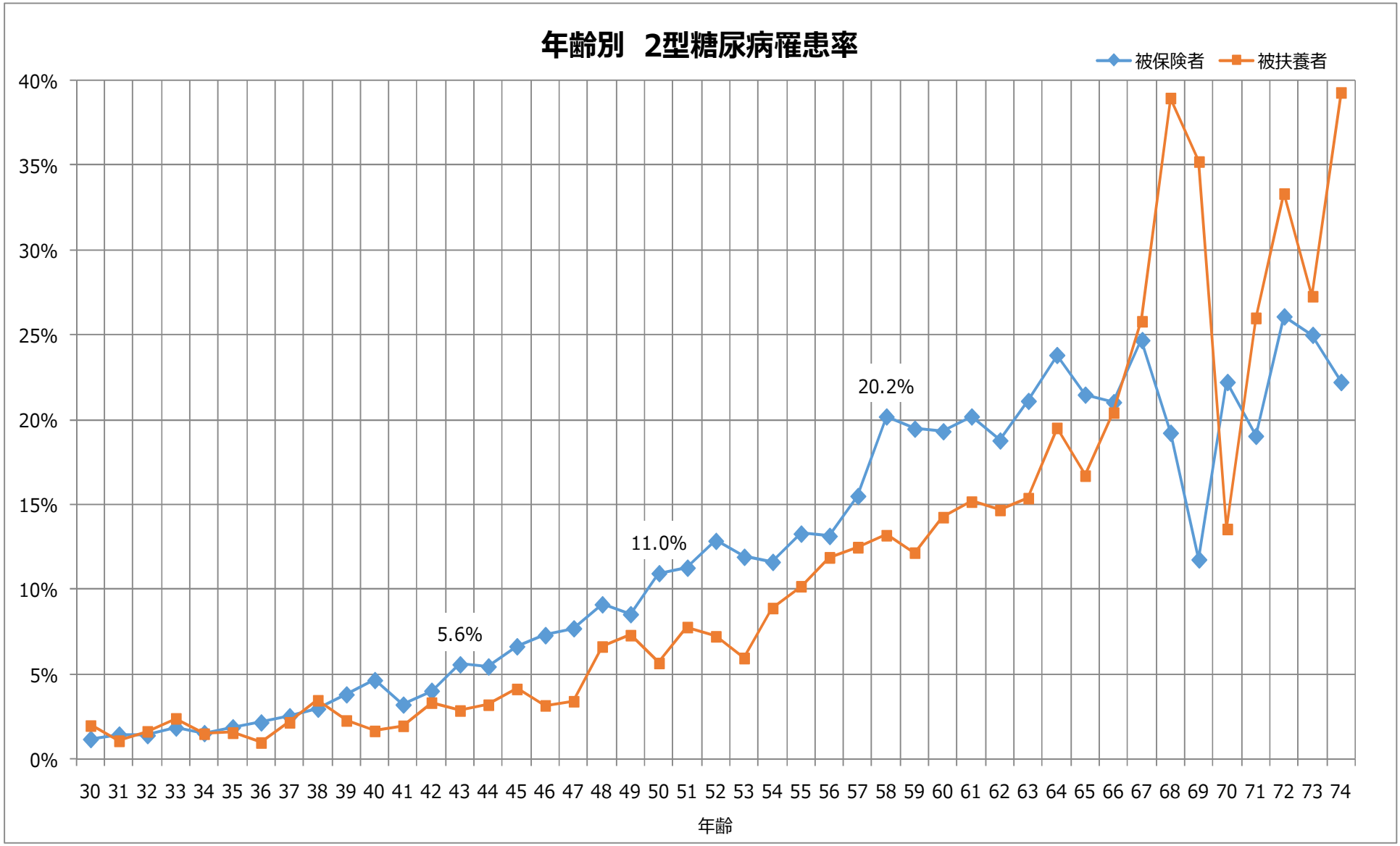


STEP１-５　レセプト分析（医療費）

【疾患別構成比】

- 全体医療費のうち生活習慣病が占める割合は18.3%、そのうち47.8%は重症化疾患である



【傷病定義】（疑い診断：含む)ICD10コード
■生活習慣病に含まれる傷病
その他生活習慣病:I10-I15/E11-14/E78
重症疾患：I20-I25/I30-I52/I60-I69/N17-N19/E12/I11-13/I15/I47-I49/I70-I72/I74/K70/K72/K73/K76/E110-E117/E130-E137/E140-E146
■がん：C00-C26/C30-C41/C45-C58/C60-C97
■メンタル疾患：F20-F39/F41

STEP１-６　レセプト分析（疾病）